

令和3年度

地域創生総合支援事業（サポート事業）

南会津地域取組事例集

令和4年1月

福島県南会津地方振興局

目次

1	サポート事業の概要	1
2	令和3年度取組事例	6
	【一般枠】	
(1)	ICTを活用した情報発信事業	7
(2)	高野 癒しの里プロジェクト	8
(3)	ヘルスツーリズム「森活」実証事業	10
(4)	木の里南会津・交流活性プロジェクト	12
	【市町村枠】	
(5)	下郷町新たな観光資源発掘・強化事業	14
(6)	“自然首都・只見”の農業-好循環モデル形成事業	15
(7)	マイクロツーリズム推進事業	17
(8)	東京2020オリンピックホストタウン交流とホストタウン・ハウス 会津田島祇園祭花嫁行列による観光誘客と地域の魅力発信事業	18
(9)	いきいき健康づくり事業	20
	【過疎・中山間地域活性化枠】	
(10)	風の子プロジェクト(集落等再生事業)	22
(11)	戸赤自然体験あそびの学校やまざくらから始まる戸赤区繋がる プロジェクト(集落等再生計画策定事業)	24
(12)	十文字星空で活性化事業(スタートアップ支援事業)	26
(13)	檜枝岐の曲げ物文化再生事業(スタートアップ支援事業)	28
3	過去に実施された主な事業	30
4	サポート事業終了後も事業を継続するポイント	31

本事例集は、南会津地域でサポート事業を活用して実施された取組や
成果を広く周知し、次年度事業の活用や南会津地域における地域づくり
活動の活性化を図ることを目的に作成しています。

人口減少や高齢化の進む南会津地域を活性化していくためには、知恵
と工夫を凝らした取組を一層進めていく必要があります。地域の皆様
は、取組事例をヒントとして、南会津を元気にする地域づくり活動に取
り組んでいただければ幸いです。

1 サポート事業の概要

以下は令和3年度時点の内容です。事業枠や補助率等は毎年度更新される場合がありますので、最新の情報については、福島県南会津地方振興局ホームページ

(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01250a/r2support.html>)
をご確認下さい。

☆ 令和4年度の事業募集は、2月上旬頃HPに掲載する予定です。

○ サポート事業とは？

地域の皆さんが主役となった、地域の特性を活かした個性と魅力ある地域づくり事業の立ち上げを支援するため、県から補助金を交付する制度です。

○ 補助内容

「一般枠」、「市町村枠」、「過疎・中山間地域活性化枠」の大きく3つの枠があり、「過疎・中山間地域活性化枠」はさらに「集落等活性化事業」、「里山経済活性化事業」、「スタートアップ支援事業」、「複数集落にまたがる課題解決に取り組む実証事業」の4つに区分されます。

事業の内容や事業を実施する団体、主な実施場所となる地域により、活用できる枠や補助率が異なります。

○ 事業期間

原則として1年です。ただし、事業計画に発展性が見込める場合、最長で3年間継続することができます。

※過疎・中山間地域活性化枠「複数集落にまたがる課題解決に取り組む実証事業」のみ、事業実施期間は1年限りです。

○ 事業枠

① 一般枠

対象事業：地域づくり団体等の皆さんが地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う広域的な視点に配慮された事業や先駆的、モデル的な事業。

※ 広域的な視点に配慮された事業とは？

- ・地域間交流を促進する事業
- ・異業種交流に結びつく事業
- ・広範囲に渡った地域情報の発信
- ・地域イベントの実施 など

※ 先駆的な事業とは？

- ・県内（または南会津地域）での事例がほとんどなく、ノウハウが蓄積されていない事業 など

【補助率】

対象地域	補助率	補助上限額	補助事業費下限額
特定過疎地域 □南会津町	4分の3以内	500万円	50万円
過疎・中山間地域 □下郷町、只見町、檜枝岐村	3分の2以内		

※「特定過疎地域」や「過疎・中山間地域」などの地域区分は、毎年度変更される場合があります。

② 市町村枠

対象事業：市町村等が行う、地域創生の推進に寄与し、具体的な効果が見込める事業。

【補助率】

対象地域	補助率	補助上限額	補助事業費下限額
特定過疎地域 □南会津町	5分の4以内	1,000万円	50万円
過疎・中山間地域 □下郷町、只見町、檜枝岐村	4分の3以内		

③ 過疎・中山間地域活性化枠

(1) 集落等活性化事業

対象事業：過疎・中山間地域の集落等が行う、元気で賑わいのある地域づくりを目指し、集落等の再生・活性化に寄与する事業。

【補助率】

対象事業	補助率	補助上限額	補助事業費下限額
集落等再生事業	5分の4以内 (★)	500万円	25万円
集落等再生計画策定事業	10分の10以内	30万円	なし

※ 「集落等再生事業」とは？

・単なる維持修繕を除くもので、集落等の活性化につながる事業全般のことです。「集落等再生計画策定事業」はその事業計画づくりの事業です。

(★)「集落等再生計画策定事業」で策定した「集落等再生計画」又は「大学生の力を活用した集落復興支援事業」で策定した集落活性化計画に基づく事業を実施する場合は、100万円まで補助率は10/10以内、100万円を超える部分は4/5以内となります。

(2) 収益事業（里山経済活性化事業）

対象事業：民間企業や協定団体が行う、地域資源を活用し、収益性のある事業の構築により持続可能な地域経済の基盤づくりを目的とした事業。

【補助率】

対象事業	補助率	補助上限額	補助事業費下限額
里山経済活性化事業	3分の2以内	1,000万円 (複数年累計)	25万円
里山経済活性化計画策定事業	10分の10以内	30万円	なし

※「複数年累計」：3年を限度に事業を継続する場合、複数年度の補助金額を合計した金額が1,000万円以内。

※ 「里山経済活性化事業」とは？

・地域資源を活用し、雇用の創出など地域活性化の効果が望まれる事業について、県が初期の投資を支援して行われる事業です。実施前に、「里山経済活性化計画策定事業」を活用し、県が開催する里山経済活性化会議において、各分野の専門家からアドバイス等を受け、「里山経済活性化計画」を策定する必要があります。

(3) 収益事業（スタートアップ支援事業）

対象事業：民間企業や協定団体が行う、地域に根差した、生業の創出や所得形成に資する事業。

【補助率】

補助率	補助限度額	補助事業費下限額
10分の9以内	300万円 (複数年累計)	20万円

※「複数年累計」：3年を限度に事業を継続する場合、複数年の補助金額を合計した金額が300万円以内。

(4) 複数集落にまたがる課題解決に取り組む実証事業

対象事業：市町村が行う、複数集落にまたがる地域の課題の解決に資する事業。

事業期間：1年限り

【補助率】

補助率	補助限度額	補助事業費下限額
3分の2以内	1,000万円	50万円

○ 各事業主体の説明

	事業主体	利用可能な事業枠
市町村等	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村、複数市町村のみで構成する協議会、広域連合及び一部事務組合。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村枠 ・過疎・中山間地域活性化枠（複数集落にまたがる課題解決に取り組む実証事業）
集落等	<ul style="list-style-type: none"> ・次のいずれかに該当するもの。 ① 市町村における行政区、自治会、町内会等の地域的な共同活動を行っている団体 ② 複数の①で構成する協議会、連合会 ③ ①と大学や民間団体が連携した事業体、連合体 	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎・中山間地域活性化枠（集落等活性化事業）
民間団体	<ul style="list-style-type: none"> ・公の機関でない、ある目的のためにまとまった2人以上の集まり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般枠
民間企業	<ul style="list-style-type: none"> ・集落等と協定を結び、市町村の推薦を受けた個人事業主または法人 	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎・中山間地域活性化枠（里山経済活性化事業） ・過疎・中山間地域活性化枠（スタートアップ支援事業）
協定団体	<ul style="list-style-type: none"> ・①～②かつ③のいずれかを満たす団体。 ① 概ね半数以上が集落等の住民、縁のある者で構成。 ② 集落等と協定を結び、市町村の推薦を受ける。 ③ (1) 公に属さない任意団体 <li style="padding-left: 20px;">(2) 企業組合 <li style="padding-left: 20px;">(3) NPO 法人 	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎・中山間地域活性化枠（里山経済活性化事業） ・過疎・中山間地域活性化枠（スタートアップ支援事業）

2 令和3年度取組事例

一般枠

- (1) ICT を活用した情報発信事業【南会津町観光物産協会】
- (2) 高野 癒しの里プロジェクト【NPO 法人森林野会】
- (3) ヘルスツーリズム「森活」実証事業
【南会津ヘルスツーリズム推進協議会】
- (4) 木の里南会津・交流活性プロジェクト【會津田島太鼓「白鼓」】

市町村枠

- (5) 下郷町新たな観光資源発掘・強化事業【下郷町】
- (6) “自然首都・只見” の農業-好循環モデル形成事業【只見町】
- (7) マイクロツーリズム推進事業【檜枝岐村】
- (8) 東京2020オリンピックホストタウン交流とホストタウン・ハウス
会津田島祇園祭花嫁行列による観光誘客と地域の魅力発信事業
【南会津町】
- (9) いきいき健康づくり事業【檜枝岐村】

過疎・中山間地域活性化枠

■ 集落等活性化事業

- 集落等再生事業
(10) 風の子プロジェクト【南会津町耻風区】
- 集落等再生計画策定事業
(11) 戸赤自然体験あそびの学校やまざくらから始まる戸赤区繋がるプロ
ジェクト【下郷町戸赤区】

■ 収益事業（スタートアップ支援事業）

- (12) 十文字星空で活性化事業【個人事業主】
- (13) 檜枝岐の曲げ物文化再生事業【個人事業主】

(1) ICT を活用した情報発信事業（継続3年目）

1 実施団体

南会津町観光物産協会

観光物産協会物産部会員及び宿泊部会員が連携し、南会津地域の活性化や観光誘客を図るため、地域での祭礼、イベント等の企画運営を実施している。

《観光物産協会HP》

<https://www.kanko-aizu.com>

2 事業の目的・ねらい

南会津町における新たな観光誘客を促進するため、影響力・購買力のある「ミレニアル世代」や外国人をターゲットに ICT（SNS・WEB・YouTube 等）を活用した情報発信を行い、南会津町の認知度・知名度向上を図る。

3 令和3年度の事業内容

■ 情報発信素材の撮影

南会津で「観られるもの」、「体験できるもの」、「食べられるもの」などの観光素材を撮影し、情報発信素材を作成。

■ 情報発信

SNS 広告等を活用し、「ミレニアル世代」や「外国人」など南会津町にとって新たな層をメインターゲットとした情報発信を実施。

《配信媒体》

Facebook、Instagram、Google、Yahoo! など

4 事業を実施したことによる効果

SNS 等を活用した情報発信を実施したことにより、南会津地域の認知度が向上し、南会津地域に興味を持つ人を増やすことができた。

5 前年度と比べて発展した部分

情報発信を戦略的に実施していくために必要な情報（広告等を閲覧した人の世代・性別・居住地域など）を継続して収集できたことで、使用する媒体や観光素材の選考基準をつかむことができ、効果的な情報発信を行えるようになった。

6 事業実施に当たり、困ったこと

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が大きく、当初予定していた祭礼、イベント等が中止となり、情報発信の内容を変更する必要があった。

7 新型コロナウイルス感染症対策として行ったこと

観光素材収集のための取材を行う際、マスク着用と手指消毒を徹底した。

8 本事業を活かして今後やってみたいこと

引き続き、撮影した観光素材や収集した情報を活用して、効果的な情報発信を行っていきたい。

(2) 高野 癒しの里プロジェクト (継続3年目)

1 実施団体

NPO 法人^{もりのかい}森林野会

地域の活性化及び観光・交流人口の拡大、長期滞在や移住・定住の促進を目的に、南会津地域の豊かな地域資源の発掘・再開発や、里山を活用したイベントの企画・開催等を行う。

《NPO 法人森林野会 HP》

<https://moriein.jimdofree.com/>

2 事業の目的・ねらい

人口減少・高齢化の進む南会津において、豊かな地域資源を保全・活用し、都会の方や外国人に日本の原風景としての憩いの場や活動の場を提供することにより、観光・交流人口の拡大及び定住・移住の促進を図る。

3 令和3年度の事業内容

■ 各種イベントの開催

- ・ウォーキング（新緑を歩こう）
参加者：15名
 - ・ホテル鑑賞会
参加者：11名
 - ・高野高山調査&登山
参加者：8名
 - ・魚つかみ大会（^き季の^か香の森で遊ぼう）
参加者：31名
 - ・千本桜植樹会
参加者：30名 など多数
- 《今後の主なイベント予定》
高野の冬まつり(2月19、20日予定)

■ 整備事業

- ・ツリーハウスの改築
- ・既設散策路の整備
- ・季の香の森の整備
- ・旧道・古道の追加調査と整備

【実施の様子】



ウォーキング（新緑を歩こう）



高野高山調査&登山



魚つかみ大会（季の香の森で遊ぼう）

4 事業を実施したことによる効果

里山（高野癒しの里）整備の基礎部分がほぼ完了したことに加え、イベントの試行を多く実施したことにより、来年度以降の本格的な里山活用に向けての土台を整えることができた。

5 前年度と比べて発展した部分

- ・ 季の香の森（ビオトープを中心としたスペース）を整備したことで、イベント会場として運用可能となり、ホタル観賞会や魚つかみ大会など、イベントの幅が広がった。
- ・ 高野癒しの里の周辺部分（山側）の調査により、活用エリアが拡大した。

6 事業実施に当たり、困ったこと

- ・ コロナ禍の影響により事業に参加する会員が限定され、運営実施体制を組むことが困難であった。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の状況下で、イベント等の広報の対象をどこまで広げるべきか判断できず、町内に対しても広報をできなかった。（HP や直接の声かけによる広報にとどまった。）

7 新型コロナウイルス感染症対策として行ったこと

- ・ イベント時にはマスク着用、手指消毒を行った。
- ・ 密になるのを避けるため、イベントにより無線ガイドシステムを活用した。
- ・ イベントは地元中心の開催とし、関東圏の会員の参加やイベントでの集客は最小限に絞って実施した。

8 本事業を活かして今後やってみたいこと

広報・宣伝や他団体との連携により、都会や外国からの誘客を図っていきたい。



アロマワークショップ

4 事業を実施したことによる効果

- 町民や在日外国人を対象に実施したモニターツアー（健康に関する悩みに応じたアロマを調合するアロマワークショップなど）が大変好評であり、次回開催や旅行商品化に向けて期待が高まった。
- 適切に効果を測定し、有意性のある意見を収集するため、地域外の事業者（大学病院等）との連携に努めたことにより、事業の効果が「見える」化され、事業の構築や課題点の抽出に反映することができた。

5 事業実施に当たり、困ったこと

首都圏の大学病院との連携によって有意義な効果測定を行えた一方で、旅行商品化に向けてはコストや各医師の時間的制約等が課題となることが明らかになった。今後は南会津地域の医師・看護師との連携や、測定の一般化を検討したい。

6 新型コロナウイルス感染症対策として行ったこと

モニターツアーの実施にあたり、参加者及びスタッフの検温、手指消毒、マスク着用を徹底した。

7 本事業を活かして今後やってみたいこと

- プロモーションの充実

動画の作成や SNS の活用、専用ホームページを開設し、事業の認知拡大を図る。また、都市圏やインバウンドの観光客数回復を見据えた旅行商品 PR 展示会等に参加し、旅行商品化の実現に努めたい。

(4) 木の里南会津・交流活性プロジェクト（1年目）

1 実施団体について

會津田島太鼓「^{びっこ}白鼓」

和太鼓を通して南会津の魅力を伝え、地域の活性化、観光振興を図り、関係・交流人口の増加を目指す。また、地域伝統芸能の継承、若者の健全育成に取り組んでいる。

南会津町、下郷町の10代～40代の若者20名程度が所属。

2 事業の目的・ねらい

若者の人口流出が著しく、過疎化が進む南会津において、和太鼓・Webコンテンツを活用し、県外に南会津の魅力を発信し、観光誘客を図る。また、自分達と同じ若い世代との交流の機会を作り、若者の関係・交流人口の増加を図る。

3 令和3年度の事業内容

■ 交流事業

福島市の小学校の和太鼓クラブとZoomによるオンライン交流会を実施し、お互いの練習方法の紹介や、演奏の披露などを行った。

■ 情報発信のための動画撮影

- ・ 南会津の木材を使い、和太鼓のバチ作り体験を実施し、その様子を撮影した。
- ・ WEBコンテンツで配信するためのプロモーション動画を作成。また、動画撮影を行える人材の育成に向け、演出方法などを学んだ。

■ Webコンテンツの運用

- ・ 撮影した動画の配信や、南会津の魅力発信を行うWebコンテンツを作成。今年度は基盤となる部分を整備した。

【事業実施の様子】



交流事業



和太鼓のバチ作り体験

4 事業を実施したことによる効果

- ・ 和太鼓を通じて南会津町をPRする方法を検討するため、南会津町の特産品などの情報収集や体験を実施したことで、地元の魅力をより深く知ることができ、情報発信や交流事業におけるPRの内容を深めることができた。
- ・ 今年度、配信・撮影や交流会の試行を実施し、事業の基盤を作ることができたので、来年度以降の事業の展開がスムーズに行える。

5 事業実施に当たり、困ったこと

当初は南会津町で対面による太鼓合宿交流会を実施する予定だったが、県内で新型コロナウイルス感染症の流行が拡大したことにより延期となった。その後、日程の調整がつかず、オンライン交流会となった。

6 新型コロナウイルス感染症対策として行ったこと

- ・ 交流会をリモートで実施した。
- ・ 交流会・動画撮影時には検温、手指消毒、機材の消毒、マスク着用などを徹底した。

7 本事業を活かして今後やってみたいこと

南会津町の木材を使い、自ら作成したバチが記念品として手元に残る体験事業は、また南会津町に行ってみたいと思うきっかけになると感じたため、和太鼓の打ち手だからこそ使える記念品を作成する体験事業をさらに増やし、交流合宿等のプログ

ラムに組み込みたい。(鹿皮や会津木綿を利用し、バチをまとめる紐を作る体験など)

(5) 下郷町新たな観光資源発掘・強化事業（1年目）

1 実施団体 下郷町

2 事業の目的・ねらい

震災・原発事故に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客入込数が減少している下郷町において、新たな観光資源の発掘・強化を行うことで、観光客入込数の増加及び町全体の知名度・魅力向上を図る。

3 令和3年度の事業内容

■ 観光トレッキングルート開発事業

那須連峰に係る日光国立公園や、湯野上温泉・塔のへつりをはじめとする県大川羽鳥自然公園などを活用し、トレッキングルートの開発を実施。

- ・ トレッキングコース設定
会津中街道を中心に全長10km程度の歴史、文化に触れることができるコースを設定。
- ・ トレッキングコース整備
ルート上の倒木撤去、刈り払いを実施。
- ・ ルートマップ作製
- ・ 案内標柱整備

■ 観光プロモーションビデオ事業

国立公園や県立自然公園と町内観光地魅力を発信する動画を、現在の広報の主流となっているSNSやYouTubeなどのコンテンツに適した方法で作成するとともに、SNS広告の掲出を行う。

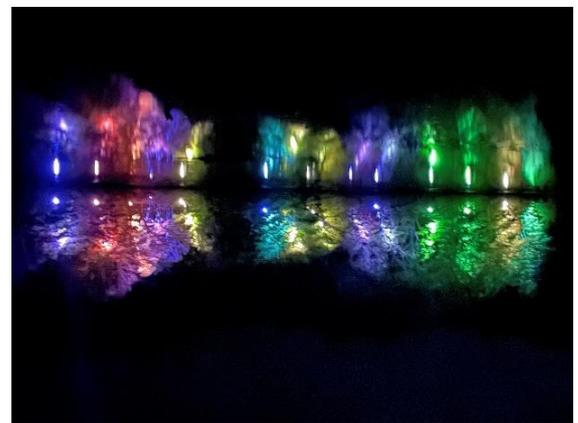
■ 観光ライトアップ事業

ライトアップ機材一式を整備し、プロモーション動画撮影に活用するとともに、観光地のライトアップを行う。今年度は紅葉期の観音沼森林公園で照射試験を実施。

【実施の様子】



観光トレッキングルート開発事業



観光ライトアップ事業

4 事業を実施したことによる効果

- 観光トレッキングルート開発事業では、次年度のルート開発の基盤を構築することができた。
- 今年度制作分の観光プロモーションビデオについては来年春から活用し、ゴールデンウィークや夏場の誘客につながることを期待される。
- 今年度の試行をもとに観光地等のライトアップを行うことにより、夜間における新たなイベントスポットになることが期待される。

5 事業実施に当たり、困ったこと

- 観光トレッキングルート開発事業や観光プロモーションビデオ事業について、業者の選定に時間がかかってしまい、計画に遅れや変更が生じた。
- 観光ライトアップ事業について、照射方法や照射方向など工夫を凝らす必要があることや、機材設置に人数が必要であることが課題として明らかになった。

6 新型コロナウイルス感染症対策として行ったこと

- トレッキングルート作成、プロモーションビデオ作成では、受注業者へ感染症対策の周知を徹底した。
- 観光ライトアップ事業の試験照射日について、大々的な周知を控えたことにより、密を防いだ。

7 本事業を活かして今後やってみたいこと

- 開発したトレッキングルートを活用したトレッキングツアーの実施。
- 作成したプロモーション動画を YouTube で公開し PR 資材とする。また、町外における各種イベント等で上映し、町の知名度アップにつなげる。
- ライトアップを活かしたナイトツアーの実施。また、町内観光団体へライトアップ機材を貸し出し、地域資源の活用を図る。

(6) “自然首都・只見”の農業-好循環モデル形成事業（1年目）

1 実施団体 只見町

2 事業の目的・ねらい

コロナ禍で飲食業界全体の需要減による米価下落予想など、町の基幹産業である農業を取り巻く環境は厳しさを増している。そのような中で、町産農産物のイメージアップや付加価値を向上させ、農家の所得向上と将来に向けた農業振興を図るとともに、“自然首都・只見”を掲げる町の地域振興をより一層強化する。

3 令和3年度の事業内容

■ ^{しよくみ}食味分析計の導入

- お米の食味値向上のため、食味分析計を只見町役場に設置するとともに、令和3年度産の新米を対象とした「食味コンテスト」を実施した。

参加件数：79件

- “只見産米”を分析し、食味値上位のお米をお米マイスター監修のもと「プレミアム米」としてパッケージ化し、PR販売を実施する。

■ 只見天領そばの成分分析

500年前の町内古民家から発見された“只見天領そば”のブランディング化を進めるため、成分分析を行い、在来品種との比較で高付加価値化を図る。

■ 大規模商談会におけるPR

- オンライン商談会
日時：11月4日（木）

- 居酒屋 JAPAN
会場：池袋サンシャインシティ
日時：1月19日（水）、20日（木）
など

【購入した備品】



食味分析計

4 事業を実施したことによる効果

食味分析計の導入により、農家ごとのお米の食味値が把握できたことで、次年度の生産意欲向上につながった。

5 事業実施に当たり、困ったこと

新型コロナウイルス感染症の影響により、スケジュールに遅れが生じた。

6 新型コロナウイルス感染症対策として行ったこと

オンライン商談会によるPR活動。

7 本事業を活かして今後やってみたいこと

- 引き続き食味分析計を活用し、高品質で食味値が高いお米の生産を促していきたい。
- 食品ロスを軽減しつつ、農家所得を向上させるため、規格外商品を活用した6次化商品の開発を進める。

(7) マイクロツーリズム推進事業（1年目）

1 実施団体 檜枝岐村

2 事業の目的・ねらい

新型コロナウイルス感染症の影響により、遠方からの来村が困難な状況にあるため、県内や近隣県からの「マイクロツーリズム」を狙った情報発信を実施し、観光客入込数の回復を図る。

3 令和3年度の事業内容

■ 地方紙、テレビ、雑誌、ラジオ等での 広告掲出

県内や隣県の地方紙や天気番組に広告を掲出し、村への関心を喚起した。

■ とちぎテレビ「カミナリのチャリ旅」 誘致

栃木県等で放送中の自転車旅の番組を誘致し、村の特集を放送。

■ YouTube 広告

釣りをテーマとした動画広告を配信。
視聴回数：957,764回
(令和3年12月時点)

■ アウトドア用品店とのタイアップ

アウトドア用品店「WILD-1」郡山店、西那須野店の店頭で、尾瀬トレッキングや釣りなどの観光PRを実施。

4 事業を実施したことによる効果

アウトドア愛好家にターゲットを絞ったことにより、効率的な情報発信につなげることができた。

【実施の様子】



アウトドア用品店での観光PR



YouTube 動画広告

5 事業実施に当たり、困ったこと

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部イベントが中止・変更となり、広告配信等の内容を当初の予定から変更する必要があった。

6 新型コロナウイルス感染症対策として行ったこと

対面イベントにおいて、消毒液の設置やマスク着用を徹底した。

7 本事業を活かして今後やってみたいこと

「釣り」「キャンプ」等のアクティビティをフックとした新規顧客層の取り込み。

(8) 東京2020オリンピックホストタウン交流とホストタウン・ハウス
会津田島祇園祭花嫁行列による観光誘客と地域の魅力発信事業（1年目）

1 実施団体
南会津町

2 事業の目的・ねらい

東京2020オリンピックにおけるアルメニア共和国のホストタウン登録を契機に、各団体や商業・観光関係機関と連携し、南会津町とアルメニア共和国との交流を生かした地域の魅力向上や活力創造の取組を行うことにより、郷土愛の醸成、商業・観光振興などの地域活性化を図る。

3 令和3年度の事業内容

■ 駐日アルメニア大使館交流事業

駐日アルメニア大使を招待し、町関係者との意見交換を実施した。また、町内施設の紹介と地元郷土料理の提供を行い、本町の魅力を発信した。

■ アルメニア料理教室

・内容：

町民及び関東圏在住者（Zoom参加）を対象に、アルメニア共和国の国民的料理を作る料理教室を開催。

・講師：NPO 法人国際芸術家センター

・参加者：20名

（町民10名、Zoom参加10名）

■ ホストタウン交流事業

アルメニア選手団の応援動画を配信するとともに、体験してもらう予定だった藍染の手ぬぐいや観光ビデオを届けた。その後、選手団からはお礼のメッセージが届いた。（当初は選手団を南会津町に招く予定

だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

■ 「ホストタウンイベント 南会津町∞アルメニア共和国ただいま・おかえりハウス」の開催

・日時：10月14日（木）

～10月17日（日）

・場所：MuSuBu 八芳園ポップアップ
ショールーム（東京都港区白金台）

・内容：

①アルメニア共和国と南会津町の交流を紹介

②アルメニア料理に南会津産の食材を使ったコラボメニューの開発と販売及び提供

③南会津町とアルメニア共和国の物産紹介と販売

④オリジナルアロマスプレーづくりの調香体験

⑤南会津町の「会津高原星の郷ホテル」とMuSuBuの会場をオンラインで繋ぎ、交流会の開催

・来場者：573名（4日間）

【実施の様子】



駐日アルメニア大使館交流事業



アルメニア料理教室



ホストタウンイベント コラボメニュー

4 事業を実施したことによる効果

ホストタウンイベントを開催したことにより、南会津町とアルメニア共和国の交流を広く周知できたほか、南会津町の魅力・認知度向上に繋がった。

5 事業実施に当たり、困ったこと

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、アルメニア選手団を南会津町に迎えるための交流事業や、東京都有明会場に設置される予定であったホストタウン・ハウスが中止となったため、計画を一部変更せざるを得なかった。

6 新型コロナウイルス感染症対策として行ったこと

- 料理教室では、講師・関東圏在住者とオンラインでの交流を実施した。
- ホストタウンイベント会場では検温機、消毒液を設置したほか、イベント参加者全員のマスク着用を徹底した。また、料理を提供する際にはアクリル板を設置するとともに、テーブルも密にならない配置とした。

7 本事業を活かして今後やってみたいこと

- 開発したコラボメニューを地元の飲食店やホテルなどの宿泊施設で提供できるよう料理教室を開催する。
- 町民がアルメニア共和国へ訪問し、交流を行う。
- 今年度実施できなかった会津田島祇園祭花嫁行列による観光誘客事業の実施と観光PRイベントの開催。

(9) いきいき健康づくり事業（継続2年目）

1 実施団体 檜枝岐村

2 事業の目的・ねらい

檜枝岐村では、本事業実施以前も運動関係の教室を開催してきたが、運動内容のマンネリ化等により参加者が減少していた。また、集団での実施であったため、参加者個人に対しての効果が十分であったとは言い難い状況であった。

これらの課題の解決のため、運動に関する各種資格を保有する者に運動教室を委託することにより、効果的かつ効率的な運動プログラムの提供を実現し、生活習慣病等の発症及び重症化予防、介護給付受給への移行遅延、医療費削減を図る。

3 令和3年度の事業内容

檜枝岐村保健センターで各種運動教室を開催。

■ 伝統的なヨーガ

- ・日時：隔週木曜日午後
- ・対象：心臓病などの循環器疾患のある者や精神的不調のある35歳以上の者で、集団への参加が難しい者
- ・内容：伝統的ヨーガ、心臓科学、ポジティブヘルスを取り入れたヨーガと講話を少人数で実施

■ 健康倶楽部

- ・日時：隔週木曜日午後
- ・対象：筋骨格系に問題のない60歳以上の村民
- ・内容 活動的に生活できることを目指した運動と講話

■ 個別運動

- ・日時：毎週水曜日午後
- ・対象：特定保健指導の対象者、生活習慣病の重症化予防から保健師が必要と判断した35歳以上の者
- ・内容：3か月間、一人ひとりに合った運動を提供

■ 心臓ヨーガ

- ・日時：毎週火曜日午後
- ・対象：心臓病などの循環器疾患のある者や精神的不調のある35歳以上の者
- ・内容：伝統的ヨーガ、心臓科学、ポジティブヘルスを取り入れたヨーガと講話

【実施の様子】



伝統的なヨーガ



健康倶楽部

4 事業を実施したことによる効果

これまで保健事業に参加していなかった住民の参加があったことや、参加者の感想等から、住民の健康意識の向上が図られたと考えられる。

5 事業実施に当たり、困ったこと

一時期、個別運動の参加者が確保できず、当初計画していた全体の事業回数を実施するために、他の運動教室を個別運動の枠に実施することになった。

6 前年度と比べて発展した部分

前年度にはなかった個別での伝統的なヨガの教室を開催することで、心疾患や不定愁訴がある方が多く参加できるようになった。

7 新型コロナウイルス感染症対策として行ったこと

- 参加者へ感染症対策の注意喚起を行い、体温測定及び記録、マスクの着用を徹底したほか、会場に消毒液を設置した。
- 運動教室の終了後、会場の消毒を行った。

8 本事業を活かして今後やってみたいこと

ヨガを取り入れた運動教室には新規参加者が多くいたため、運動意識の向上を図るためにも継続していきたい。

1 実施団体

はしかぜ
南会津町耻風区

2 事業の目的・ねらい

世帯数が少なく、少子高齢化が進む南会津町耻風区において、大学生と交流しながら、地域の課題解決につながる事業を構築・実施することで、地域活性化を図る。また、限界集落のモデル地区として、大学生に学びの場を提供する。

3 令和3年度の事業内容

■ 大学生による現地調査

- ・ 大学生が複数回にわたり地区を訪問し、地域住民から地域の魅力や課題等について聞き取り調査を行った。
- ・ 大学生が農産物の生産者に交渉を行い商品を買付け、大学で販売することで、耻風区のPRを行った。

■ 大学へのイベント出店

耻風区の魅力をまとめたパンフレットを学生などに配布し、耻風区や事業のPRを行った。

■ 直売所の水道工事

地域の野菜等を販売する直売所のトイレの簡易水洗工事を行い、施設の利便性を向上させた。

【実施の様子】



大学生による現地調査



大学におけるPR

4 事業を実施したことによる効果

新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度には実施できなかった大学生との直接の交流や、地区住民による大学の訪問を行うことができ、学生と区の関係が深まった。

5 事業実施に当たり、困ったこと

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大学生との交流等の計画が難しかった。
- ・ オンラインによる交流で耻風区の現地案内を行うため、ポケットWi-Fiやタブレット端末などが用意できればよかった。

6 前年度と比べて発展した部分

新型コロナウイルス感染拡大時の対応として、大学と集落をオンラインでつなぎ会議等を実施する方法を導入した。

7 新型コロナウイルス感染症対策として行ったこと

- ・ 大学生、地区住民ともに、訪問時の人数を制限し、小規模な交流とした。
- ・ 首都圏で緊急事態宣言が発令されている期間は、双方の訪問を控えた。

8 本事業を活かして今後やってみたいこと

東武鉄道や会津バスを利用して貨客混載による地区農産物の運搬を行い、すでに販路の確立されている埼玉県草加市や越谷市、大学等で野菜の直売を行う。

(耻風区の位置する南会津町西部では公共交通機関が会津バスしかなく、地域住民が積極的にバスの存続を応援する必要があると考える。その手段の一つとして、野菜等の荷物の運搬を提案するもの。)

1 実施団体

下郷町戸赤区

2 事業の目的・ねらい

人口減少・高齢化が進む下郷町戸赤区において、集落内の宿泊体験交流施設「やまざくら」や木地工房を活用し、関係人口の拡大及び交流人口の増加を図るため、大学生とともに地域課題の解決に向けた計画策定を行う。

3 令和3年度の事業内容

■ 「DTT」イベントの開催

- ・開催日：7月22日（祝・木）
～7月23日（祝・金）
- ・会場：戸赤自然体験あそびの学校「やまざくら」
- ・内容：

下郷町近隣のアーティストによる作品の展示会及び販売

- ・来場者数：30名

※DTT（=Don't Think Twice）

アート、クラフト、ダンス&ミュージックカルチャーなど、様々なジャンルからプレイヤーが集い、ワークショップ等を開催している。

■ 「森林と健康」イベントの開催

- ・開催日：11月28日（日）
- ・会場：戸赤自然体験あそびの学校「やまざくら」
- ・内容：
近隣の地域おこし協力隊などによる森林と健康のためのワークショップ
- ・来場者数：5名

■ 大学生との交流

- ・開催日：12月4日（土）
～12月5日（日）
- ・内容：
来年度から行う集落等活性化事業の計画策定に向けた打合せ及び大学生と地区住民の交流を実施

【実施の様子】



DTT イベント



大学生との交流

4 事業を実施したことによる効果

- ・地域住民が主体となりイベントを開催したことにより、近隣住民の施設認知度の向上につながった。
- ・大学生との交流により、施設の活用方法のアイデアが多く提案された。

5 事業実施に当たり、困ったこと

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画していたイベントを中止した。
- ・ 当団体主催のイベントについては今年度初めて実施したが、当初の予定よりも準備に時間を要したことにより広報が遅れ、広く周知することができなかった。

6 新型コロナウイルス感染症対策として行ったこと

- ・ イベント会場に検温機、消毒液を設置したほか、イベント参加者のマスク着用を徹底した。
- ・ イベント参加者に接触確認アプリ「COCA」のインストールを促した。

7 本事業を活かして今後やってみたいこと

首都圏の高校生・大学生など、若者との交流イベントを増やし、戸赤区をはじめとして下郷町の魅力をより広く発信したい。

十文字星空で活性化事業（継続3年目）

1 実施団体

個人事業主（下郷町）

十文字星見台オーナー。地域活性化を目的に、星空観望会等を実施している。

《十文字星見台 HP》

<http://juumonji-hoshimidai.com/>

2 事業の目的・ねらい

人口減少・少子高齢化が進む下郷町十文字区において、地域資源である「綺麗な星空」を活用し、観望会やイベント等を開催することで、十文字区の魅力を地域内外に発信し、地域活性化を図る。

3 令和3年度の事業内容

■ 観測ベースの貸出（通年）

利用者：3件4名（うち県外3名）

■ 星空観望会

- ・ミニ観望会

実施回数：2回

参加者：3名

- ・冬の観望会 with 豚汁

参加者：4名

- ・湯野上温泉「こぼうしの湯 洗心亭」とのコラボ企画

利用者：3組5名

《今後の予定》

冬の観望会 Part2（3月実施予定）

■ カフェ運営

利用者：19名

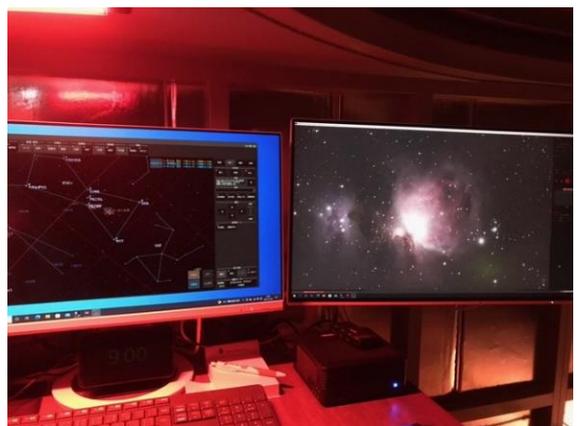
【実施の様子】



観測ベース貸出



冬の観望会 with 豚汁



電子観望の様子

4 事業を実施したことによる効果

観測ベースの貸出については県外の利用者が多く、十文字区の星空のすばらしさが地域外にも広く認知されつつある。

また、天体望遠鏡メーカーの高橋製作所のカタログや、以下のメディアにおいて十文字星見台が取り上げられ、認知度向上を実感した。

- ・ チャレンジ福島プロジェクトPR動画
- ・ 県広報誌「ゆめだより」10月号
- ・ ラジオ福島の「日本を元気に！あなたの街のささえびと」の電話インタビュー

5 事業実施に当たり、困ったこと

- ・ コロナ禍のため、イベントの計画さえ立てられない状況が続いた。
- ・ ミニ観望会では、天候に恵まれず集客が伸びなかった。

6 前年度と比べて発展した部分

湯野上温泉「こぼうしの湯 洗心亭」とのコラボ企画

8～10月と、コロナ禍が収まらない期間での企画だったため、応募は3組にとどまったが、宿泊業をはじめとし、地元他業種との積極的なコラボへの期待が膨らむ第一歩になった。

7 新型コロナウイルス感染症対策として行ったこと

- ・ 小規模な観望会を中心に実施。
- ・ 参加者にマスクの着用、検温、手指消毒、連絡先の記入をお願いした。
- ・ 参加者に接触確認アプリ「COCOA」のインストールを推奨した。

8 本事業を活かして今後やってみたいこと

- ・ 出張観望会

南会津地域内の方で、十文字星見台まで来ることが困難（送迎など）な場合、こちらから出向いて望遠設備等を設置し、南会津の夜空のすばらしさを体感してもらう。（ある程度の集客、望遠鏡設置スペースおよび搬入自動車の駐車スペースが確保できれば実施可能）

- ・ 電視観望の継続

1 実施団体

個人事業主（檜枝岐村）

檜枝岐村で昔から作られてきた曲げわっぱの技術を継承し、曲げわっぱの製作販売を通じて檜枝岐村の知名度向上や伝統文化の保存に寄与する。

2 事業の目的・ねらい

現在ある程度の認知度のある檜枝岐村の曲げわっぱであるが、後継者不足等により今後の存続が危ぶまれている。

檜枝岐村の伝統工芸である曲げ物文化の保存・認知度向上のため、技術向上及び次世代への継承を図る。

3 令和3年度の事業内容

■ 曲げわっぱづくりワークショップ

- ・日 時：6月3日（木）
- ・場 所：自宅作業場
- ・参加者：6名
- ・内 容：曲げわっぱ弁当箱作り

■ 新潟県寺泊「足立茂久商店」

11代目足立照久 ふるい・せいろ作り講習会

- ・日 時：12月2日（木）
- ・場 所：檜枝岐山旅案内所2F大会議室
- ・参加者：4名
- ・内 容：新潟県で唯一の曲げ物職人による、ふるい・せいろ作り講習会

《今後の事業予定》

- ・冬期イベントにおける商品販売
- ・鳥取県の職人を訪ね、情報交換

【実施の様子】



曲げわっぱづくりワークショップ



ふるい・せいろ作り講習会

4 事業を実施したことによる効果

- ・ 曲げわっぱの知名度が向上しつつあることにより、弁当箱以外の注文や問い合わせが増加した。(京都の料亭や県内観光地からせいろ作成の依頼など)

5 事業実施に当たり、困ったこと

ウッドショックの影響により、材料の調達に苦労した。

6 前年度と比べて発展した部分

- ・ 講習会を実施し、挽^{ひき}曲げやせいろづくりの技術を習得したことで、複雑な構造の曲げわっぱを作ることができるようになり、より多くの要望・依頼に応えられるようになった。
- ・ 端材等を活用しトレイなどの小さな商品を作成し、材料を無駄なく使用できるようになった。

7 新型コロナウイルス感染症対策として行ったこと

ワークショップや講習会におけるマスク着用の徹底。

8 本事業を活かして今後やってみたいこと

生産量を増加し、販売に力を注ぎたい。

3 過去に実施された主な事業

事業名（事業枠）	実施主体（市町村）	事業概要	実施年度
南会津地酒の宴～花鳥風酒（一般枠）	地酒で乾杯！プロジェクト（南会津町）	南会津の地域資源である地酒の普及及び地産地消を推進することにより、南会津町における観光振興及び地域経済の活性化を図るため、地域の飲食店と連携したイベントの開催、日本酒を活用した商品の販売促進及びSNSによる情報発信等を実施した。	H28～H30
南会津ハッピー計画事業（一般枠）	南会津ハッピーカンパニー（南会津町）	福島県の大震災による風評払拭、南会津地域の魅力発信、地域活性化及び交流人口拡大を図るため、地域住民が主体となった音楽フェスや南会津の自然や文化が体験可能なワークショップ等を実施した。	H22～H24
しもごろカードを利用した地域コミュニティ・交流推進事業（一般枠）	下郷町商工会（下郷町）	商店街の振興及び地域コミュニティの活性化を図るため、商店街の共通ポイントカード「しもごろカード」を活用し、町との連携のもと、町内を巡るポイントラリーや、ポイント付与を特典とした健康づくり講習会等を実施した。	H29～H31
南会津町ヤマザクラ1万本の里づくり事業（市町村枠）	南会津町	森林を再生し地域振興及び交流人口拡大を図るため、南会津町内にヤマザクラを植樹し、記念植樹看板の設置やヤマザクラマップの配布により「ヤマザクラの里」として県内外に情報発信を行った。	H31
大学生と都市住民との連携・協働による集落再生元年事業（過疎・中山間地域活性化枠（集落等活性化事業））	布沢区（只見町）	布沢区の住民が誇りと自信を持てる集落をつくるため、大学生と都市住民との連携・協働により、遊休農地や里山を活用した山菜園の整備、戸板山登山道の整備及び山開きイベント等を実施した。	H28～H30
森の恵み「アロマ」による地域活性化事業（過疎・中山間地域活性化枠（里山経済活性化事業））	NPO法人南会津はりゅう里の会（南会津町）	地域資源である山林を活用しアロマオイルの原料の確保や栽培を目指し、針生地区をアロマの里として地域活性化を図るため、原料の植生・生態調査、試験栽培の実施や、南会津アロマ祭りの開催による情報発信を行った。	H28～H30
ただみ特産品米焼酎づくりプロジェクト（過疎・中山間地域活性化枠（里山経済活性化事業））	合同会社ねっか（只見町）	地域に誇れる特産品として只見産の米を活用した米焼酎を新たに作るため、空き家を活用した蒸留所の整備、特産品しょうちゅう製造免許の取得及びラベルやチラシの作成・配布による情報発信を行った。	H28～H30
菜舎子どもはぐくみ事業（過疎・中山間地域活性化枠（スタートアップ支援事業））	菜舎（只見町）	地区の少子高齢化対策、地域活性化及び子どもの地元への帰郷心醸成を図るため、地域住民による任意団体「菜舎」を設立し、地域の子どもたちを対象とした自然教育事業や民泊・観光体験事業を実施した。	H31

4 サポート事業終了後も事業を継続するポイント

- 事業の効果と課題を検証し、改善を図ってください。
→補助期間（最長3年間）を準備や試行期間ととらえ、前年度に行った事業でうまくいかない部分があった場合はその原因を検証し、次年度には改善を図りながら発展した取組を行ってください。

- 補助期間終了後を見据えた、長期的な事業計画を立ててください。
→「補助金がなくなったら、事業が実施できない。」という取組は、継続が見込めません。
補助終了後にどのように事業を実施するか、長期的な収支を見込んで適切な事業計画を立ててください。

- 安定した実施体制を作ってください。
→限られた少人数の体制で事業を継続していくのは困難です。
様々な人たちが参加しやすい体制をつくり、自分たちの活動について情報発信に努め、他の地域づくり団体等と連携するなどして、仲間や理解者を増やしてください。

随時、南会津地方振興局へ御相談ください。

相談・問い合わせ先

福島県南会津地方振興局 企画商工部地域づくり・商工労政課
サポート事業担当

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲 4277-1
(南会津合同庁舎2階)

電話 0241-62-5207 / FAX 0241-62-5209

南会津地方振興局ホームページ

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01250a/r2support.html>

